

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-61	中学校	数学	数学	2年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
116 日文	数学 808	中学数学 2		

1. 編修の基本方針

— 子どもたちに「真の生きる力」をはぐくむ数学の学び —

数学的な見方・考え方を働かせた

「わかる・できる・活かす・楽しむ」数学的活動の充実により

確かな資質・能力が育つように…

私たちはこの教科書が、そのたすけとなることを心から願って編修しました。

本教科書は、教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するため、次のような基本方針で編修しました。

基本方針

1

数学的に考え
表現するための学び方
をはっきり示します

～主体的・対話的で深い学びの実現～

基本方針

2

生活や学習の
基盤となる数学の礎を
きっちり築き上げます

～基礎的・基本的な力の確実な定着～

基本方針

3

数学の楽しさやよさを
しっかり感じられる
ようにします

～生活や学習への活用場面の充実～



1 数学的活動を通じた学びをサポートします

- ・巻頭「数学の学習を始めよう！」(p.4～5)では、数学的活動を通じた問題発見・解決の過程と学び方のポイントを示しています。

数学的活動を通じた学びをサポートする役割を果たし、主体的・対話的で深い学びを実現させます。

日々の学習で役に立つ学び方のポイントを示しています。

<p>身近なことがら 身近なことがら 日常生活や社会の中のことからです。</p> <p>数学の問題にしよう ことがらの数量などに着目して、数学の問題にする過程です。</p> <p>Q 学習の出発点となる問題です。</p>	<p>見直しをもとう 見直しをもつためのポイント ・これまでに学習したことで、使えそうなことはないかな。 ・これまでに学習したことを使うには、どんなふうをすればよいか。</p> <p>考えよう 自分で考えるときのポイント ・図や表、式などを使って考えよう。 ・自分の考えを説明できるように、考えをノートに整理しよう。</p> <p>話し合おう 話し合うときのポイント ・これまでに学んだこととよく似た方法や考えはないかな。 ・みんなの方法や考え方に共通することやちがうことはないかな。 ・いつでも使えそうな方法や考え方はどれかな。</p>	<p>ふり返ろう 学習をふり返る時のポイント ・どんなことがわかったかな。 ・問題を解決するとき、どんな方法や考え方が役に立ったかな。 ・学んだことがらには、どんなよきがあったかな。 ・次にしたいこと、さらに調べたいことは何か。</p> <p>深めよう 学習を深めるためのポイント ・問題の条件の一部を変えた新たな問題を見つけて解決しよう。 ・学んできたことと新たに学んだことを関連づけて考えよう。 ・学んだことをほかの場面で活用しよう。</p>
---	--	---

2 数学的な見方・考え方を働かせられるようにします

- ・巻頭「数学的な見方・考え方を身につけよう！」(p.6～7)では、数学的な見方・考え方を働かせながら学ぶことの大切さを理解できるようにしています。
- ・各小節の横欄〈大切な見方・考え方〉では、その場面で必要な「数学的な見方・考え方を働かせながら数学的活動に取り組めるようにしています。

巻頭「数学の学習を始めよう！」(p.4～5)より抜粋

大切な見方・考え方

ふり返って考える
式の意味を読み取る

1章 式の計算 (p.31)

大切な見方・考え方

関連づけてまとめる
加減法と代入法に共通している考え方をまとめる

2章 連立方程式 (p.45)

3 自分の考えをもち、対話することを通して深い学びを実現します

- ・「学び合おう」では、問題解決型の授業展開をはっきりと示しています。自分で考えたことをもとに話し合い、学習をふり返ることで学びを深められるようにしています。
- ・各小節では、〈話し合おう〉や〈説明できるかな?〉を適宜設けています。言語活動の充実を図ることで、数学的な思考力、判断力、表現力等を養うことができるようにしています。

「学び合おう」は、主体的・対話的で深い学びを実践する授業展開の小節です。巻末には切り離して使える「対話シート」があります。

5 くじのあたりやすさを調べて説明しよう

学び合おう

対話シート④ p.247

身近なことがら

彩さんたちは、くじ引きで先に引く人とあとから引く人では、どちらがあたりやすいかを考えています。

数学の問題にしよう

上のことがらを、これまでに学んだことを使って考えるには、どうすればよいでしょうか。

話し合おう

くじの総数とあたりの本数を決めれば、確率の問題になりそうだね。

何人でくじ引きをするのかも決める必要があるね。

ほかに、決めなければならない条件はないかな。

Q

5本のくじがあり、そのうちの2本があたりです。2人が続けて1本ずつくじを引き、引いたくじはもどさない場合、くじを引く順番によって、あたりやすさにちがいはあるでしょうか。

1 **見直しをもとう**

(1) Qのことがらについて予想しましょう。

(2) 予想が正しいかどうかを確かめる方法を考えましょう。

くじを用意して実験してみようかな。

起こりうるすべての場合を樹形図や表に表して考えられないかな。

6章 データの分布と確率「学び合おう」(p.184)

2

① 既習内容を確認することで、学びの連携を図ります

- ・新しい章にはいる直前には、既習事項を確認する「次の章を学ぶ前に」を設けています。新しい章の学習をスムーズに行うことができます。
- ・各小節では、導入の問題に〈Q〉、横欄に〈確かめ〉を適宜設けています。既習である基礎的・基本的な内容を、必要な場面で確かめることができます。

小中連携をふくめた学びの連携を重視しています。

確かめ ▶1年

4xという項で、
数の部分4を
xの係数という。

確かめ ▶算数

$(\text{時間}) = \frac{(\text{道のり})}{(\text{速さ})}$
 $(\text{道のり}) = (\text{速さ}) \times (\text{時間})$

次の章を学ぶ前に

解答例▶p.228

1 等式の性質を使って、下の方程式を解きましょう。

A=Bならば、次の等式が成り立つ。

- ① $A+C=B+C$
- ② $A-C=B-C$
- ③ $AC=BC$
- ④ $\frac{A}{C} = \frac{B}{C} (C \neq 0)$

- (1) $x-4=3$
- (2) $x+10=-5$

- (3) $\frac{1}{2}x=-8$
- (4) $3x=12$

確かめ ▶1年

数量の等しい関係を等号を使って表した式を等式という。

等式

$$2a+3b=330$$

左辺 右辺

両辺

xの値によって、成り立ったり、成り立たなかったりする等式を、xについての方程式という。

方程式を成り立たせる文字の値を、その方程式の解といい、解を求めることを、方程式を解くという。

「次の章を学ぶ前に」(p.35)

② 学習の系統性を意識づけることで、学んだことを次の学習に生かすことができます

- ・横欄〈大切な見方・考え方〉に「知っていることを使えるようにする」ことや「同じように考える」ことを適宜明示しています。これまでに身につけた知識及び技能を新しい問題の解決に生かしていくことで、基礎的・基本的な学力が確かなものになっていきます。
- ・既習事項を再度取り上げるなど、学び直しの機会を適宜設けています。新たな内容を取り上げる際に、既習事項を意図的に取り上げることで、生徒の理解を広げたり深めたりすることができます。
- ・小節末に〈次の課題〉を適宜設けています。その時間に学んだことから新たな課題に気づかせ、次の学習への意識を高めます。

既習事項を生かした学びを大切にしています。

大切な見方・考え方

知っていることを
使えるようにする

文字が1つだけの
方程式をつくる

比例や反比例のグラフについて学習したときも、同じように点をとって調べたね。



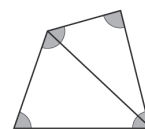
③ 生徒が苦手とする問題を克服できるようにしています

- ・生徒キャラクターの吹き出しやノート枠を使って、数学的な表現の例を示しています。数学的に適切な表現をしたり説明をしたりする力を身につけるたすけとなります。
- ・〈誤答に注意!〉とかかれたプレートをもったキャラクターの吹き出しを使って、生徒がまちがえやすい箇所について注意喚起しています。
- ・〈まちがえやすい問題〉では、まちがえたり誤解したりしやすい問題の典型的な誤答例を示すなどして意識づけをし、まちがいを防ぎます。

数学的な説明のしかたの手本を吹き出しやノート枠で示しています。

表現の例

四角形は、1本の対角線で2つの三角形に分けることができます。三角形の内角の和は 180° だから $180^\circ \times 2 = 360^\circ$ 。四角形の内角の和は 360° です。



4章 図形の性質と合同〈表現の例〉(p.107)

1 学習したことを活用する場面を充実させ、数学のよさを実感できるようにします

- ・〈身近なことから〉から数学の問題をつくる過程を課題に取り入れたり、解決した問題の条件の一部を変えるなどして新しい問題をつくって取り組んだりする場面を適宜設けました。自ら課題を見だし、発展させるなどして、数学を活用していく資質・能力を養うことができます。

学びに向かう生徒を育てる
わくわくする課題を提供します。

4 スタート位置を決めよう

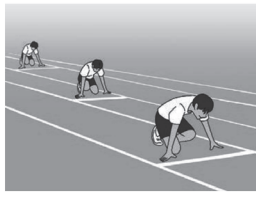
学び合おう

対話シート①▶p.241

身近なことから

陸上トラックのセパレートコースを1周すると、内側のレーンより外側のレーンの方が長くなります。

ゴールの位置を同じにして、各レーンのスタートからゴールまでの長さを等しくするには、各レーンのスタート位置をどのくらいずらせばよいでしょうか。



数学の問題にしよう

陸上トラックを、下の図のような、2つの半円と1つの長方形を組み合わせた形とみることにします。

また、各レーンの内側の周の長さを、そのレーンの1周の長さとして

第4レーン
第3レーン
第2レーン
第1レーン

大切に
な見方・考え方
数学の問題にする
条件を明確にする

ほかに何を決めればいかな。


真央さん

1章 式の計算「学び合おう」(p.30)

3 平行四辺形になる条件の活用

身近なことから

右の箱は、上の段の部分がいつも水平になるようにつくられています。



数学の問題にしよう

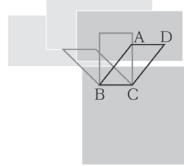
どうしていつも水平になるんだろう。

図形の性質を使って確認できないかな。

陸さん 真央さん

右の図は、上の箱を真横から見た状態を表したものです。

上の段と下の段をつないでいる棒をとめているネジの位置をA、B、C、Dとします。ADがいつもBCと平行になるには、AB、BC、CD、DAの長さがどのようになっていればよいですか。



5章 三角形と四角形 (p.151)

2 数学を身近に感じられるようにします

- ・巻頭の「数学を見つけよう」では、数学を身近に感じ、数学への興味・関心を高められるようにしています。
- ・「章の扉」では、身近なことからや数学のことから数学の課題を見だし、いく過程を大切に扱っています。
- ・各章に設けた「数学のたんけん」や巻末の「数学を仕事に生かす」「暮らしと数学」では、生活や社会の中で数学が重要な役割を担っている事例を紹介しています。

自身の将来を考えたり、日々の生活と数学との関わりを考えたりするきっかけとなります。

数学を仕事に生かす

数学で身につける予測する力

管 真紀子さん(エンジニア)

プロフィール
大学院まで数学を学び、博士号を取得。その後、現在勤める電機メーカーに入社。数学を使って、テレビの開発などに関係する技術を研究してきた。





(上) 実験用につくられたテレビの内部の機器
(左) 美しい映像を表示するデジタルテレビ

巻末「数学を仕事に生かす」(p.192)

1章 式の計算

何かきまりがあるのかな?

カレンダーから十字形に5つの数を選んで、その5つの数の和を求めてごらん。



70になったよ。

和由さんのお姉さん 和由さん

選んだ5つの数の真ん中は14でしょうか?



7+13+14+15+21=70

あたった。どうしてわかったの?

1章 式の計算「章の扉」(p.10)

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	・生活や社会の中に見られる数学を紹介することで、知的好奇心を喚起し、数学を学ぶことへの興味・関心を高められるようにしました。(第1号)	巻頭見返し
各章	・男女平等に配慮し、男女区別のない役割を意識した場面を提示し、公平な立場で他者と接することができるようにしました。(第3号) ・「学び合おう」では、問題解決の過程において、自分の考えを表現したり、他者と協働して取り組んだり、数学的な妥当性を考察したりする活動の場面を設けることで、真理を求める態度、自他の敬愛と協力を重んじる態度を養えるようにしました。(第1号、第2号、第3号)	p.101, 103, 151, 162～163 など p.30～31, 90～91, 107～109, 184～185
1章 式の計算	・基礎的・基本的な内容をていねいに扱う一方、理解が早い生徒が進んで取り組むことができる問題の〈チャレンジ〉を横欄に設けました。(第2号)	p.14, 17, 19, 20, 21
2章 連立方程式	・環境教育の観点から、空き缶のリサイクル活動を問題として取り上げました。(第4号)	p.55
3章 1次関数	・環境教育、消費者教育の観点から、年間の電気代を考慮して2つの冷蔵庫にかかる総費用を比較する課題を設けました。(第4号)	p.90～91
4章 図形の性質と合同	・算数や中学1年で学習した内容と結びつけながら、数学的な推論の必要性と意味を理解できるようにしました。(第1号)	章全体
5章 三角形と四角形	・数学の歴史に関するコラムを掲載することで、数学は過去の数学者の努力によって発達してきたことを理解できるようにしました。(第5号)	p.139
6章 データの分布と確率	・猛暑日に関するデータの考察を通して地球温暖化問題を実感し、生命を尊び、自然を大切にすることを養えるようにしました。(第4号) ・確率の必要性と意味を生活の場面と関連づけて理解できるようにし、探究していく態度を養えるようにしました。(第1, 2号)	p.162～166, 172～173 p.184～185, 187
巻末 数学 マイトライ	・個々の学習状況に幅広く柔軟に対応できるような素材を集め、生徒の主体性を重視し、自主及び自律の精神を養えるようにしました。(第2号) ・1970年大阪万博、2025年大阪・関西万博に関するコラムを掲載し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第5号)	p.191～227 p.194～195

3. 上記以外に特に意を用いた点や特色

●特別支援教育への配慮

すべての生徒が等しく学べるように、カラーバリアフリー、ユニバーサルデザイン(UD)を採用しました。

- ① UDフォントの使用、罫線や囲みの使い方、色使い、レイアウトなどをくふうし、判読しやすくしました。
- ② 読みやすい位置で改行をしたり、図中の文字を大きくしたりして、読みやすい紙面構成にしました。
- ③ 小学校で学習しない漢字、学習しない読み方をする漢字には、見開きごとに振り仮名をつけました。

●道徳教育との関連

問題解決の場面では、自らの考えを発表し、他者の多様な考え方を尊重し、話し合いを通してよりよい考えをつくり上げていく展開を重視して、道徳性を養うことに配慮しました。

●ICTの活用

〈WEBマーク〉をつけた箇所に関連したコンテンツを弊社ウェブページに用意しました。また、「プログラムと数学」(p.204～205)を設けることで、論理的思考力を身につけられるようにしました。

●伝統・文化への取り組み

我が国の伝統・文化に対する理解を深められるような素材を取り上げました。(「さっさ立て」p.198)

●防災教育との関連

防災への意識を高める素材を取り上げました。(「雷に気をつけよう」p.85)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-61	中学校	数学	数学	2年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
116 日文	数学 808	中学数学 2		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特 色

1 主体的・対話的で深い学びの実現

① 数学的活動を通じた学びをサポートします

- ・巻頭「数学の学習を始めよう！」(p.4～5)や「ノートにくふう」(p.8)と各章における学習をつなげることで、数学的活動を通じた学びをサポートし、主体的・対話的で深い学びを実現します。

見通しをもつ

学習の出発点となる〈Q〉(数学的活動ア, イ)で本時の課題をつかみ、〈めあて〉で学習のゴールとそこまでの道筋を確認することで、学習の見通しをもてるようにしています。

自分で考える

話し合う

深める

〈考えよう〉マークがついた〈問〉では、問題の解き方などを自分なりに考えることで、数学的な思考力を養うようにしています。(数学的活動ア, イ)

〈話し合おう〉マークがついた〈問〉では、数学的に表現することのよさを実感し、数学的な表現力をのばしていくようにしています。(数学的活動ウ)

〈深めよう〉マークがついた〈問〉では、基礎的・基本的な知識の理解をより確実にしたり、思考力、判断力、表現力等をいっそうのばしたりすることができます。(数学的活動ア, イ)

振り返る

「数学の学習を始めよう！」に振り返りのポイントを、「ノートにくふう」に振り返りの記述例を示すことで、次の学習に生かすための振り返りができるようにしています。



めあて

考えよう

問 1

話し合おう

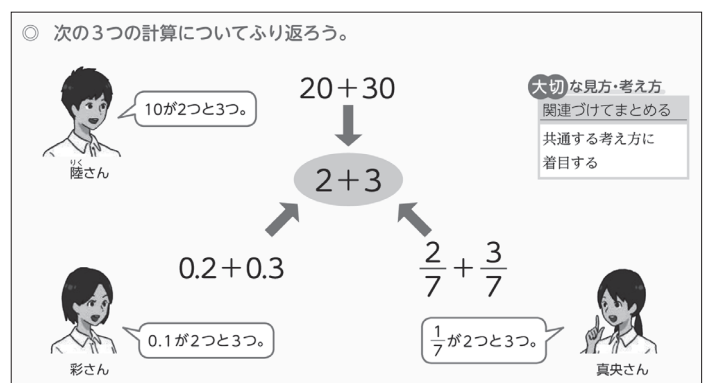
問 2

深めよう

問 4

② 数学的な見方・考え方を働かせられるようにします

- ・巻頭「数学的な見方・考え方を身につけよう！」(p.6～7)と各章における学習をつなげることで、数学的な見方・考え方を働かせながら学習を進め、数学的な資質・能力を養えるようにしています。
- ・各小節では、その場面で働かせるべき「数学的な見方・考え方」を具体的に示すとともに、汎用的な表現でくり返し示すことで、「数学的な見方・考え方」がさらに確かで豊かなものとなり、自分の判断で適切に働かせることができるようにしています。



巻頭「数学的な見方・考え方を身につけよう！」(p.7)

大切な見方・考え方

根拠を明らかにする

表, グラフ, 式を使って
ことばで説明する

← 汎用的な表現 →

← 具体的な表現 →

大切な見方・考え方

根拠を明らかにする

使った図形の性質や
条件を明らかにする

③ 自分の考えをもち、対話することを通して深い学びを実現します

- ・「学び合おう」では、典型的な問題解決型の授業展開をはっきりと示しています。話し合いやふり返りの観点を明確に示すことで、深い学びを実現します。
- ・巻末には「対話シート」を用意しています。自分の考えをかき、たがいの考えを伝え合うために使用することで、問題解決のための考え方を高め、表現のしかたを練り上げ、理解を深めていきます。

〈ふり返り〉

③ ・残りの長さが何cmになるか計算で簡単に求められるのがいいところだと思った。

④ ・やがてお湯をわかすとき、1次関数を使うと、何分お湯がわくか予想できそうだと思った。

大切なことがらに色を使うなどして、わかりやすくかくふうをしよう。

p.241～248にある〈対話シート〉も使ってノートをつくりましょう。

身近なことがら
くじ引きで先に引く人とあとから引く人では、どちらがあたりやすいでしょうか。

数学の問題にしよう
条件を決めて、確率の問題にしましょう。
その条件では、くじを引く順番によって、あたりやすさには違いはあるでしょうか。

くじの総数	5本	〈大切〉
あたりの数	2本	条件を深めると身近な疑問を
くじを引く人数	2人	数学の問題として考えられる。
引いたくじはもとどない		
(予想)先に引く方があたりやすいと思う。		

〈ふり返ろう〉

各自で学習をふり返って、次のようなことをかこう。

- ① わかったこと
- ② 役に立った考え方
- ③ よさを感じたこと
- ④ 生活との関わり
- ⑤ 次にしたいこと、さらに調べたいことなど

② 2本のあたりを①、③、3本のあたりを②、④と区別して、1対1の図をかき方法が役に立った。

⑤ 今度は、くじを引く人数を3人に変えるとうなるか考えてみたい。

「ノートのくふう」(p.8)

特色

2

基礎的・基本的な力の確実な定着

① 学習の系統性を意識づけることで、学んだことを次の学習に生かすことができます

- ・習得した知識及び技能を新しい問題の解決に生かしていく学習活動をくり返すことで、基礎的・基本的な学力を確かなものにできる構成としています。
- ・小節末に〈次の課題〉を適宜示すことで、新たな課題に気づかせ、次の学習への意識を高めます。

大切な見方・考え方

知っていることを使えるようにする

係数を整数にする

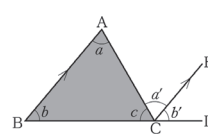
▶次の課題 1次関数 $y=ax+b$ のグラフは、 a の値が変わると、どのように変わるかな。

② 生徒が苦手とする問題を克服できるようにしています

- ・〈例〉にタイトルをつけることで、学習内容を理解しやすく、また、復習をするときに目的の内容を見つけやすくしています。
- ・生徒キャラクターの吹き出しやノート形式の枠、□埋め形式の問題などで「数学的な説明のひな形」を示しています。そこから説明のしかたを学ぶことで、生徒が苦手とする傾向にある説明する問題、記述する問題にも対応できる表現力が身につくようにしています。
- ・節末「基本の問題」では、問題ごとに戻すべき箇所を明示しているので、つまづきを早期に解決することができます。

説明できるかな?

問1 右の図のように、△ABCの辺BCの延長をCDとします。また、頂点Cを通って辺BAに平行な直線CEをひきます。この図を使って、三角形の内角の和が 180° であることを説明しなさい。



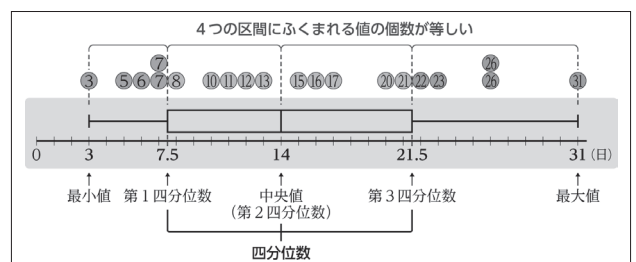
平行線の□は等しいから $\angle a = \angle a'$
 平行線の□は等しいから $\angle b = \angle b'$
 したがって
 $\angle a + \angle b + \angle c = \angle \square + \angle \square + \angle c = 180^\circ$

大切な見方・考え方
根拠を明らかにする
平行線の性質を使って説明する

4章 図形の性質と合同(説明できるな?)(p.104)

③ 新学習指導要領から加わった内容をていねいに扱っています

- ・四分位範囲と箱ひげ図については、小学校で学んだドットプロットや中央値を学び直しながら、その必要性や意味を確実に理解できるようにしています。



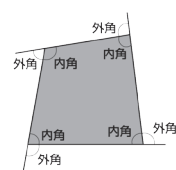
6章 データの分布と確率 (p.165)

1 学習したことを日常生活や次の学習に活用することを大切にしています

- ・学習したことをほかの場面で活用したり、問題の条件の一部を変えて新しい問題をつくって取り組んだりする数学的活動の場面を適宜設けることで、思考力、判断力、表現力等をのばすとともに、学びに向かう力、人間性等を養うことができるようにしています。
- ・巻末「**活用の問題**」では、全国学力・学習状況調査で課題があると指摘された内容を踏まえた問題を掲載しています。思考力や読解力、記述する力などを養うことができます。

5 多角形の内角の和を求めよう 対話シート③ p.245

多角形についても、三角形と同じように、内角と外角を考えることができます。



真央さん: 三角形の内角の和は180°ということがわかったけど、十角形のような、もっと頂点の数が多角形の内角の和はどうなっているのかな。

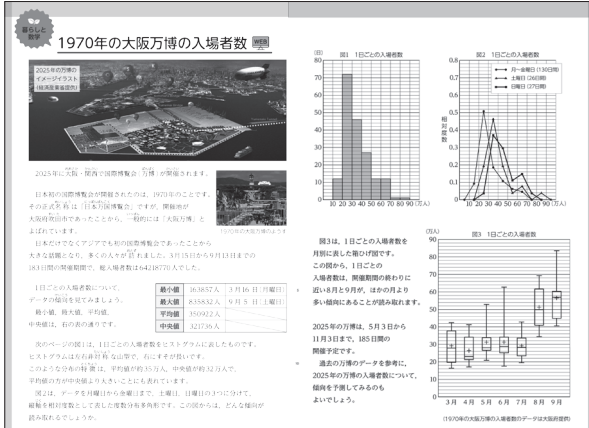
○ n角形の内角の和を求めましょう。

4章 図形の性質と合同「学び合おう」(p.107)

2 数学のよさを感じられるようにします

- ・実在する資料やデータを使った教材を取り上げることで、数学を身近に感じるとともに、数学の有用性を実感できるようにしています。
- ・各章の「**数学のたんけん**」、巻末の「**暮らしと数学**」「**数学研究室**」では、身のまわりにある数学をコラムや課題学習として取り上げています。
- ・巻末の「**数学レポートをかこう**」では、学習したことのよさをふり返ったり、新たに調べてみたいことは何かを生徒間で共有したりして、今後の数学的活動に生かすことができるようにしています。

1970年の大阪万博の入場者数



2025年の万博「大阪・関西万博」が開催されます。日本の国際博覧会が開催されたのは、1970年のことです。その万博は「1970年万国博覧会」ですが、簡称が「大阪万国博覧会」であったことから、「万国博」は「大阪万博」とよんでいます。

日本だけでなくアジアでも初の国際博覧会であったことから、大きな成功となり、多くの人が訪れました。3月15日から9月13日まで183日間の開催期間で、総入場者数は4,126万7千人です。

項目	数値
1日ごとの入場者数について	
最小値	36,382人 (3月16日(月曜日))
最大値	81,582人 (9月5日(土曜日))
平均値	22,600人
中央値	22,276人

2025年の万博は、5月3日から11月3日まで、185日間の開催予定です。

過去の万博のデータを参考に、2025年の万博の入場者数について、傾向を予測してみましょう。

巻末「暮らしと数学」(p.194～195)

1 個に応じた学習ができるようにしています

- ・各小節には、やや難易度の高い問題を〈**チャレンジ**〉として出題しています。学習進度の速い生徒が進んで取り組むことで、学力をのばしていくことができます。また、小節末に適宜設けた〈**やってみよう**〉には、個や学級の実態に応じて扱うことができる発展的な課題を用意しています。
- ・巻末の「**補充問題**」は授業の直後や定期的な復習として、家庭学習の際に活用することができるようにしています。
- ・節末には「**基本の問題**」、章末には基礎・基本から標準的な問題までの「**章の問題**」と、やや難易度の高い問題の「**とりくんでみよう**」を設け、個の実態に応じて扱えるようにしています。生徒の自己評価にも役立ちます。
- ・学習指導要領の範囲を超える内容には〈**発展**〉マークをつけ、生徒の興味・関心や学習状況に応じて扱うことができますようにしています。このことにより、中高の連携を図ることができます。
- ・巻末「**数学マイトライ**」には、生徒の実態に応じて柔軟に取り組むことができる問題や課題を用意しています。基本的な内容や応用的・発展的な内容のバランスにも配慮し、多様な生徒に対応できるようにしています。
- ・自学・自習に対応できるように、巻末の解答例を充実させています。
- ・巻末「**さくいん**」には、英語の表記を併記しています。英語にも興味をもち、さらなる探究心をもって数学や英語の学習に取り組むことが期待できます。

(教科書の特色表)

基本事項	準拠性	教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法第2条に示された教育の目標を達成するため、特に次の3点を柱に編修しています。 <ol style="list-style-type: none"> ①数学的に考え表現するための学び方をはっきり示す ②生活や学習の基盤となる数学の礎をきっちり築き上げる ③数学の楽しさやよさをしっかり感じられるようにする
		学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された数学科の目標達成を目指し、数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を通じた学習となるようにしています。
		公正性	<ul style="list-style-type: none"> ・教材や場面の選定、記述にあたっては、内容が一方的、断定的な見解に偏っていないか、広く受容されているかを十分吟味・検証しています。
		正確性	<ul style="list-style-type: none"> ・検定基準などに照らして正確な内容であることを検証しています。
内容・系統性		発達の段階への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発達の段階を考慮した内容とし、学年ごとの系統性や3年間を通じた系統性、領域間の関連性に配慮しています。また、小・中・高の連携にも配慮しています。
		配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭、各章、巻末の構成で内容を配列し、適宜関連コラムなどを配置しています。 ・各学年の配当時間の約9割で学習できる分量にしています。 ・既習事項とのつながりがわかるような一覧性のあるもくじにしています。
		学習意欲・主体的な学習態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に学習のしかたをわかりやすく示すことで、生徒の学習意欲を喚起し、主体的な学びを促すようにしています。 ・生徒が興味・関心をもてるような素材を選定しています。 ・生徒と同じ立場の親しみやすいキャラクターの言葉が学ぶ意欲を高めます。
		多様な学習の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・既習内容をもとに解決方法を考えたり、話し合ったり、学習の過程をふり返ったりするなど、数学科の特質を生かした主体的・対話的で深い学びを行う場面を積極的に取り入れています。
		基礎・基本	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識及び技能の習得・定着が十分に図れるような構成になっています。
		思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・式や図、グラフ、言葉などを関連づけて考え表現する活動を積極的に取り入れています。 ・方法や理由などを数学的に説明する記述式の問題をすべての章に設けています。
		活用	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを日常生活や新しい学習に活用する場面を充実させています。
		現代的・社会的な諸課題への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育、キャリア教育、消費者教育、情報教育・情報モラル、環境教育、伝統文化、国際理解などに関する内容を取り上げています。 ・ESD、SDGsに配慮した内容を取り上げています。
その他		家庭学習への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・数学科の学び方や教科書の使い方については、保護者へのメッセージも掲載し、学校と家庭の連携を促しています。 ・個に応じた取り扱いができる「数学マイトライ」は、家庭学習でも使用することができます。
		取り扱い素材	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒にとって身近に感じられる素材を用いた問題を開発しています。
		他教科との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育や他教科の学習内容と関連のある素材を取り上げ、効果的な指導ができるようにしています。これにより、カリキュラムマネジメントに役立つことが期待されます。 ・数学とプログラミングに関する特設ページを設けています。 ・さくいんに英語の表記を併記することで、英語への興味・関心を高められるようにしています。
		特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーバリアフリーやユニバーサルデザインを採用するなど、特別支援教育について十分に配慮しています。また、拡大教科書を制作します。
		デジタル教材の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書と連携して使えるデジタル教材やコンテンツを提供する体制を整え、学習効果を高められるように配慮しています。
		判型	<ul style="list-style-type: none"> ・B5判を採用しています。巻末「対話シート」は、切り離して授業で使った後、ノートに貼って残すことを想定し、一般的なノートよりひとまわり小さいサイズにしています。
		文字・印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で学習しない漢字には、見開きごとに振り仮名をつけています。 ・可読性が高いユニバーサルデザインフォントを使用しています。 ・本文用紙は軽量化した再生紙とし、表紙は表面加工を施し、耐水性や堅牢性を考慮しています。 ・植物油インクを用いて印刷し、堅牢なあじろ綴製本で開きやすくしています。

2. 対照表

章	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数	
1章 式の計算	A(1)ア	(ア)p.10～23, (イ)p.24～27, 30～31 (ウ)p.24～27, 30～31, (エ)p.24～31	15	
	A(1)イ	(ア)p.10～22, (イ)p.24～31		
	数学的活動(1)	ア p.30～31 イ p.10～12, 25, 26 ウ p.31, 34		
2章 連立方程式	A(2)ア	(ア)p.36～39, (イ)p.36～39, (ウ)p.40～48	13	
	A(2)イ	(ア)p.40～48, (イ)p.50～56		
	数学的活動(1)	ア p.36～39 イ p.40, 41, 44, 45 ウ p.40, 42, 58		
3章 1次関数	C(1)ア	(ア)p.60～77, (イ)p.60～65, (ウ)p.78～83	18	
	C(1)イ	(ア)p.60～76, (イ)p.84～91		
	数学的活動(1)	ア p.60～62, 90～91 イ p.62, 65, 66, 67, 71, 87 ウ p.62, 65, 76, 82, 84, 85, 87, 91, 94		
4章 図形の性質と合同	B(1)ア	(ア)p.96～103, (イ)p.104～111	17	
	B(1)イ	(ア)96～111		
	B(2)ア	(ア)p.113～117, (イ)p.118～128		
	数学的活動(1)	イ p.96～98, 100, 102, 107～109, 123 ウ p.101, 104, 106, 108, 110, 114, 115, 130		
5章 三角形と四角形	B(2)ア	(イ)p.132～160	18	
	B(2)イ	(ア)p.132～160, (イ)p.151～152		
	数学的活動(1)	ア p.151 イ p.132～134, 146 ウ p.139, 147, 153, 160,		
	内容の取扱い	(1) p.153～155		
6章 データの分布と確率	D(1)ア	(ア)p.162～175, (イ)p.162～175	13	
	D(1)イ	(ア)p.162～175		
	D(2)ア	(ア)p.176～179, (イ)p.180～183		
	D(2)イ	(ア)p.180～183, (イ)p.184～185		
	数学的活動(1)	ア p.162～173, 184～185 イ p.179, 183 ウ p.166, 172, 173, 185, 190		
(予備時間：11時間)			合計	94

※上記の表に示した箇所以外にも、小節の〈Q〉や巻末「数学研究室」で数学的活動を扱っています。

※予備時間は、学校や生徒の実態に即して弾力的に扱っていただくための時間です。

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-61	中学校	数学	数学	2年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
116 日文	数学 808	中学数学 2		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
49	数学のたんけん 3つの文字をふくむ 連立方程式	2	[第2学年] 2内容 A(2) ア(ア)二元一次方程式とその解の意味を理解すること。 ア(イ)連立二元一次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解すること。 ア(ウ)簡単な連立二元一次方程式を解くこと。 イ(ア)一元一次方程式と関連付けて、連立二元一次方程式を解く方法を考察し表現すること。	1
187	数学のたんけん 期待値	1	[第2学年] 2内容 D(2) ア(ア)多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性と意味を理解すること。 イ(イ)確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現すること。	1
合計				2

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容